



ハードウェア リファレンス ガイド
Compaq Evo Workstation W4000
デスクトップ / ミニタワー 共用型モデル

製品番号 : 244947-291

2001 年 9 月

このマニュアルでは、このコンピュータ シリーズのアップグレードについて説明します。

© 2001 Compaq Computer Corporation.
© 2001 コンパックコンピュータ株式会社

Deskpro は、米国 Compaq Computer Corporation の登録商標です。Compaq、Compaq ロゴおよび Armada は、米国 Compaq Computer Corporation の商標です。

Evo は、米国 Compaq Information Technologies Group, L.P. の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentium、Intel Inside および Celeron は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

コンパックのサービス ツール ソフトウェア（これに付随する文書を含む）は、Compaq Computer Corporation の財産であり、機密技術が含まれます。サービスの提供を受けるお客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社によって提供される当該サービスの提供に直接関連する行為に限り、当該サービス提供期間内においてのみ、ソフトウェアを使用することを本書により許諾されます。お客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社による許諾なしに、ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、削除、または譲渡しないものとします。また、お客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社による許諾なしに、ソフトウェアあるいはいかなる動作結果の診断またはシステム管理データも第三者に利用させないものとします。サービス終了時にお客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社の判断により、ソフトウェアおよびこれに付随する文書を廃棄または返却するものとします。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェア リファレンス ガイド
Compaq Evo Workstation W4000
デスクトップ / ミニタワー共用型モデル
初版 2001 年 9 月
製品番号 : 244947-291

コンパックコンピュータ株式会社

目次

1	コンピュータの機能	
	標準構成の機能	1-1
	フロントパネルの各部	1-2
	リアパネルの各部	1-3
	キーボードの各部	1-4
	Windows Logo キー	1-5
	マウス	1-5
	シリアル番号の記載位置	1-6
	ミニタワー構成からデスクトップ構成への変更	1-6
	デスクトップ構成からミニタワー構成への変更	1-9
2	ハードウェアのアップグレード	
	取り付け手順の概要	2-1
	スマートカバー ロック	2-2
	Smart Cover FailSafe キーの使用	2-2
	アクセスパネルの取り外し	2-4
	フロントパネルの取り外し	2-6
	ドライブベイカバーの取り外し	2-7
	増設メモリの取り付け	2-8
	DIMM	2-8
	メモリモジュールの取り付け	2-9
	拡張カードの取り付けまたは取り外し	2-11
	拡張スロットカバーの取り外し	2-11
	拡張カードの取り外しまたは取り付け	2-12
	ドライブの位置	2-14
	増設ドライブの取り付け	2-14
	CD-ROM、DVD-ROM、またはその他のリムーバブルメディアドライブの 取り付け	2-16
	5.25 インチドライブベイへの3.5 インチドライブの取り付け	2-18
	3.5 インチドライブベイへのハードディスクドライブの取り付け	2-20
	ドライブベイからのドライブの取り外し	2-22

A 仕様	
システム ボード.....	A-2
B ハードディスク ドライブのインストール	
Ultra ATA デバイスのケーブル セレクト機能.....	B-1
Ultra ATA デバイスのインストールのガイドライン	B-2
SCSI デバイス.....	B-3
SCSI デバイスのガイドライン.....	B-3
別売の SCSI デバイスのインストールのガイドライン	B-5
SCSI コントローラ.....	B-6
SCSI ケーブルの使用.....	B-6
SCSI デバイスと [SCSISelect] の使用	B-7
低騒音ドライブのオプションの選択	B-8
C バッテリーの交換	
D セキュリティ ロックの準備	
セキュリティ ロックの取り付け.....	D-1
E 静電気対策	
静電気による損傷の防止	E-1
アースの方法	E-2
F コンピュータの手入れと運搬時の注意	
コンピュータの手入れ	F-1
CD-ROM ドライブの使用上の注意.....	F-2
操作および取り扱いに関する注意	F-2
クリーニングの際の注意	F-2
安全にお使いいただくためのご注意	F-2
運搬時の注意	F-3

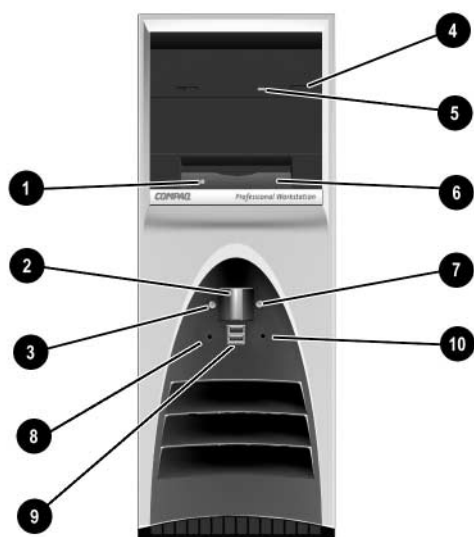
索引

コンピュータの機能

標準構成の機能

Compaq Evo デスクトップ / ミニタワー共用型パーソナル コンピュータはミニタワー構成ですが、デスクトップ構成に簡単に変更することができます。コンピュータの機能は、モデルにより異なる場合があります。ご使用のコンピュータのハードウェアおよびソフトウェアの一覧を表示するには、**[Compaq Diagnostics]** ユーティリティ (Windows® 版) またはシステム情報の参照 (INSPECT) ユーティリティ (一部のモデルで使用可能) を実行してください。これらのユーティリティの使用手順については、リファレンス ライブラリ CD に収録されている『トラブルシューティングガイド』を参照してください。

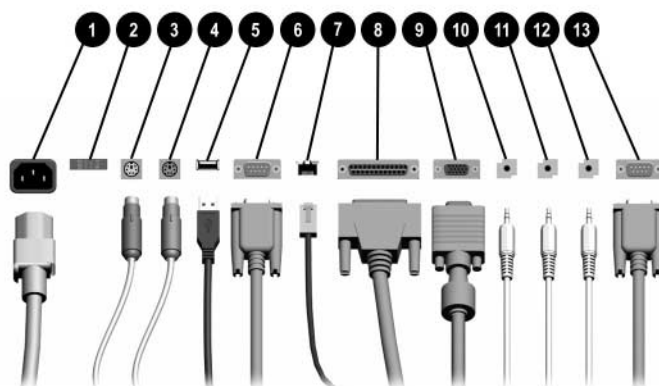
フロント パネルの各部



フロント パネルの各部

①	ディスク ドライブ ランプ	⑥	ディスク 取り出し ボタン
②	デュアルステート 電源 ボタン	⑦	ハードディスク ドライブ ランプ
③	電源 ランプ	⑧	ヘッドフォン コネクタ (オプション)
④	CD-ROM 取り出し ボタン	⑨	USB コネクタ (オプション)
⑤	CD-ROM ドライブ インジケータ	⑩	マイク コネクタ (オプション)

リア パネルの各部

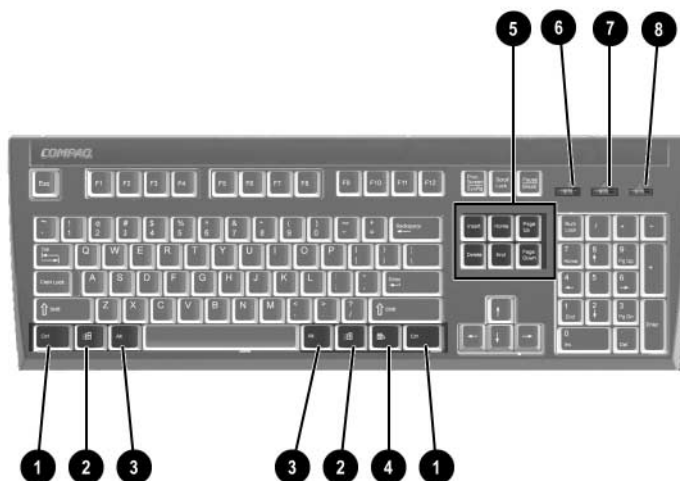


リア パネルの各部 *


①	電源コード コネクタ	⑧	パラレル コネクタ
②	電圧選択スイッチ	⑨	モニタ コネクタ
③	マウス コネクタ	⑩	ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ
④	キーボード コネクタ	⑪	ラインイン オーディオ コネクタ
⑤	USB コネクタ	⑫	マイク コネクタ
⑥	シリアル コネクタ (COM1)	⑬	シリアル コネクタ (COM2)
⑦	Ethernet RJ-45 コネクタ		

* 装備されているコネクタの種類や数は、モデルにより異なる場合があります。

キーボードの各部



コンパクトの拡張キーボードの各部

❶	[Ctrl] キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、ご使用のアプリケーション ソフトウェアによって異なります
❷	Windows Logo キー *	Microsoft® Windows の [スタート] メニューを表示します。他の機能を実行するために他のキーと組み合わせて使用します (次の項目を参照してください)
❸	[Alt] キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、ご使用のアプリケーション ソフトウェアによって異なります
❹	アプリケーション キー *	マウスの右ボタンと同様に Microsoft Office アプリケーション内でポップアップメニューを表示するために使用します。また、他のソフトウェアアプリケーションで別の機能を実行することもできます
❺	編集キー	[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End] および [Page Down] の各キーがあります  [Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押すと、コンピュータを再起動できます
❻	[Num Lock] ランプ	Num Lock 機能が有効かどうかを示します
❼	[Caps Lock] ランプ	Caps Lock 機能が有効かどうかを示します
❽	[Scroll Lock] ランプ	Scroll Lock 機能が有効かどうかを示します

* 特定の国や地域でのみ使用可能です。

Windows Logo キー

Windows オペレーティング システム内では、Windows キーを他のキーと組み合わせることでさまざまな機能を実行することができます。

[Windows] + [F1]	ヘルプ画面を表示します
[Windows] + [Tab]	タスクバーのボタンを切り替えます
[Windows] + [E]	エクスプローラの [マイ コンピュータ] を起動します
[Windows] + [F]	ファイルやフォルダの検索を起動します
[Windows] + [Ctrl] + [F]	ほかのコンピュータの検索を起動します
[Windows] + [M]	開いているすべてのアプリケーションを最小化します
[Shift] + [Windows] + [M]	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します
[Windows] + [R]	[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを表示します

マウス

ほとんどのアプリケーションは、マウスをサポートしていますが、ボタンの機能は、アプリケーションによって異なります。

シリアル番号の記載位置

各コンピュータには固有のシリアル番号が付いています。このシリアル番号は、アクセスパネル ❶ または本体の裏側 ❷ に記載されています。コンパクトのサポート窓口へのお問い合わせの際には、この番号をお手元に用意しておいてください。

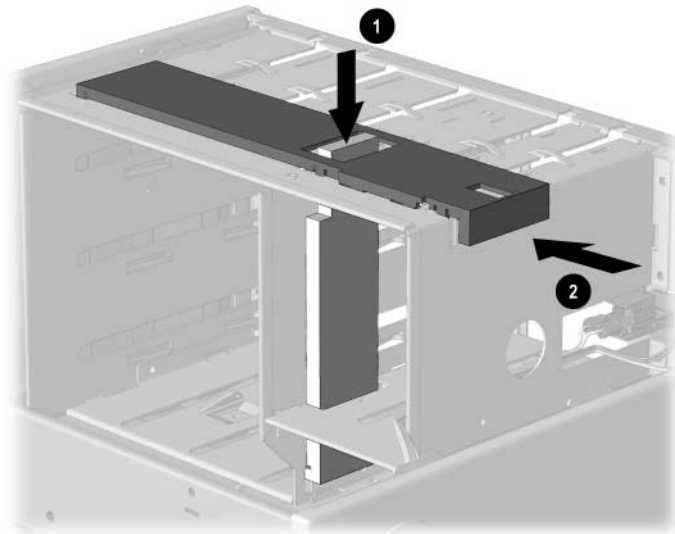


シリアル番号の記載位置

ミニタワー構成からデスクトップ構成への変更

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
2. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。取り外しの手順については、第 2 章の「アクセス パネルの取り外し」を参照してください。
3. フロント パネルを取り外します。取り外しの手順については、第 2 章の「フロント パネルの取り外し」を参照してください。
4. 5.25 インチ ドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルやデータ ケーブルをすべて抜き取ります。

5. 5.25 インチ ドライブ ベイからドライブを取り外すには、次の図のように、長い方の（緑色の）ドライブロック ② を押します。

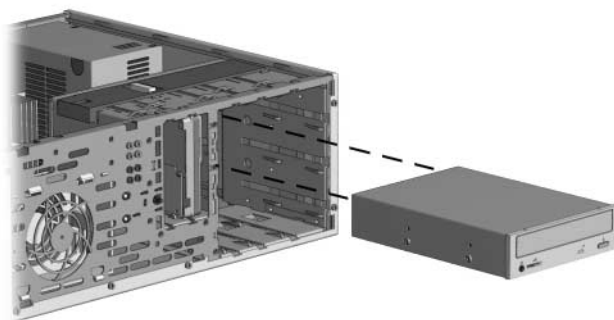


ドライブロックの解除（シャーシの背面から見た場合）

6. ドライブロックを押しながら、ドライブ ベイからドライブを引き出します。
7. ドライブをシャーシに取り付ける前に、取り付けるドライブが内蔵の 3.5 インチ ドライブに対して垂直になるようにしてください。ドライブの底面が緑のドライブロックと平行になっている必要があります。



デスクトップ構成の場合、ディスク ドライブは、適切な間隔でシャーシに装着するために、常に最上段のベイに装着してください。



デスクトップ構成でのドライブの取り付け

8. ドライブをベイにゆっくりとスライドさせて入れます。ドライブが正しく収まると、ドライブロックによって固定されます。

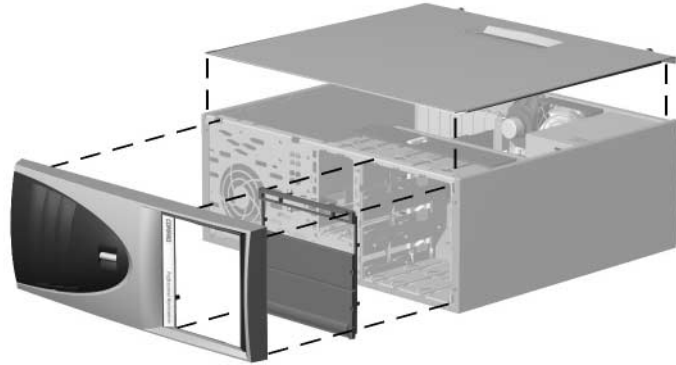


注意：強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

9. すべての電源ケーブルとデータケーブルを 5.25 インチ ドライブ ベイ内のドライブに元どおりに接続します。
10. 第 2 章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外し、ドライブ ベイ カバーを付けたサブパネルを、デスクトップ構成にしたときに正しい向きになるように取り付けます。
11. サブパネルからロゴプレートを取り外し、デスクトップ構成にしたときに正しい向きになるように回転させてから、サブパネルに再び取り付けます。



注意: サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロントパネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロントパネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。



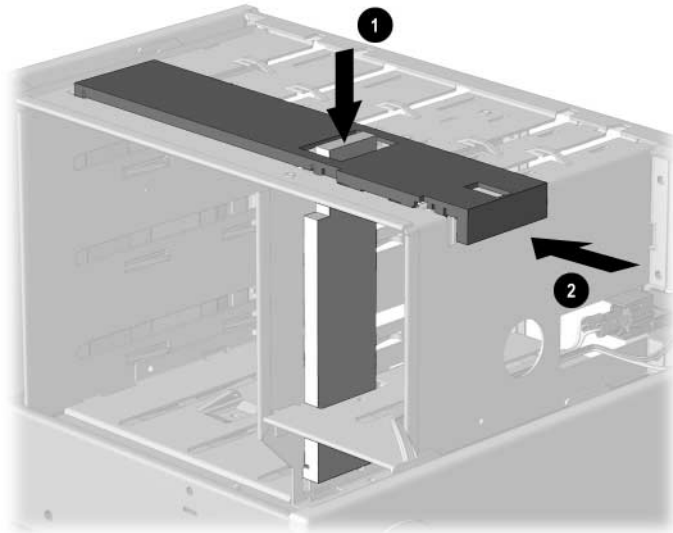
ミナタワー構成からデスクトップ構成への変更

12. サブパネル、フロントパネル、およびコンピュータアクセスパネルを元に戻します。
13. 外付けデバイスを再び接続します。

デスクトップ構成からミナタワー構成への変更

1. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。ACコンセントから電源コードを抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
2. コンピュータのアクセスパネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「アクセスパネルの取り外し」を参照してください。
3. フロントパネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「フロントパネルの取り外し」を参照してください。

4. 5.25 インチのドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルやデータ ケーブルをすべて抜き取ります。
5. 5.25 インチのドライブ ベイからドライブを取り外すには、次の図のように、短い方の黄色のドライブロック ❶ を押します。



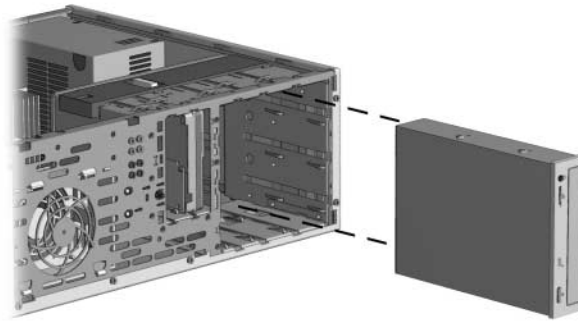
ドライブロックの解除（シャーシの背面から見た場合）

6. ドライブロックを押しながら、ドライブ ベイからドライブを引き出します。

7. ドライブをシャーシに取り付ける前に、取り付けるドライブが内蔵の3.5インチのドライブと同じ向きになるようにしてください。ドライブの底面が黄色のドライブブロックと平行になっている必要があります。



ミニタワー構成の場合、ディスクドライブは、適切な間隔でシャーシに装着するため、内蔵の3.5インチドライブに最も近いベイに装着してください。



ミニタワー構成でのドライブの取り付け

8. ドライブをベイにゆっくりとスライドさせて入れます。ドライブが正しく収まると、ドライブブロックによって固定されます。



注意：強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

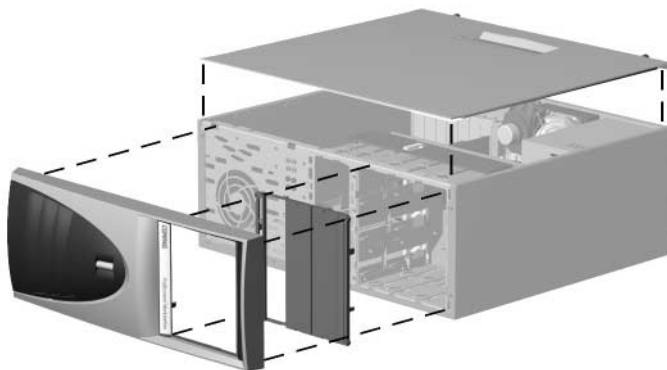
9. すべての電源ケーブルとデータケーブルを5.25インチドライブベイ内のドライブに元どおりに接続します。

- 第2章の「ドライブベイカバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外し、ドライブベイカバーを付けたサブパネルを、ミニタワー構成にしたときに正しい向きになるように取り付けます。



注意: サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロントパネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロントパネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

- サブパネルからロゴプレートを取り外し、ミニタワー構成にしたときに正しい向きになるように回転させてから、サブパネルに再び取り付けます。



デスクトップ構成からミニタワー構成への変更

- サブパネル、フロントパネル、およびコンピュータアクセスパネルを元に戻します。
- 外付けデバイスを再び接続します。

ハードウェアのアップグレード

取り付け手順の概要

どのオプションのデバイスを取り付ける際にも、この手順どおりに行うようにしてください。

1. ご購入のコンピュータにスマート カバー ロック (Smart Cover Lock) 機能があり、ロックを設定した場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを解除し、スマート カバー センサを無効にしてください。

コンピュータ セットアップ ユーティリティについて詳しくは、『コンピュータ セットアップ ガイド』を参照してください。

2. コンピュータにすでに電源が入っている場合は電源を切り、電源コードを AC コンセントから抜きます。



警告：感電や火傷の危険がありますので、電源コードが AC コンセントから抜き取ってあること、本体内部の温度が下がっていることを確認してください。



警告：感電や火災が発生したり、装置を損傷する場合がありますので、電話回線のモジュラー ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。



注意：静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「付録 E 静電気対策」を参照してください。

3. 外側のカバーを外し、コンピュータ内部が見えるようにします。取り外しの手順について詳しくは、「アクセス パネルの取り外し」を参照してください。
4. 任意のオプションのデバイスを取り付けます。取り付ける手順については、このガイドの該当する部分、またはデバイスに付属のドキュメントを参照してください。
5. コンピュータのカバーを元に戻します。
6. モニタ、コンピュータ、およびテストするデバイスに電源を入れます。
7. 必要な場合は、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。コンピュータ セットアップ ユーティリティの使用法について詳しくは、『コンピュータ セットアップ ガイド』を参照してください。

スマート カバー ロックを通常どおりにロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

スマート カバー ロック



スマート カバー ロックは、一部のモデルにのみ含まれるオプションの機能です。

スマート カバー ロックはソフトウェアで制御可能なカバー ロックであり、セットアップ パスワードによって制御されます。このロックによって、承認されていないユーザによるコンピュータ内部のコンポーネントへの不正なアクセスを防ぐことができます。コンピュータは、スマート カバー ロックがロックされていない状態で出荷されます。スマート カバー ロックをロックする方法については、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。

Smart Cover FailSafe キーの使用

スマート カバー ロックを使ってコンピュータをロックしたまま、パスワードを入力できなくなってしまった場合、Smart Cover FailSafe キーを使用して、コンピュータ本体のカバーを開ける必要があります。Smart Cover FailSafe キーが必要となるのは、次のような場合です。

- 停電
- 起動障害
- PC 部品（プロセッサや電源など）障害
- パスワードを忘れてしまった場合



注意： Smart Cover FailSafe キーは、コンパックが提供する専用ツールです。このキーが必要になる前に、あらかじめご用意なされることをおすすめします。

FailSafe キーの入手については、コンパックのサポート窓口にお問い合わせください。

アクセス パネルを開くには、次の手順に従います。

1. コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
3. Smart Cover FailSafe キーを使用して、スマート カバー ロックをシャーシに固定している 2 本の不正防止ネジを外します。



スマート カバー ロックのネジの取り外し

4. アクセス パネルを取り外します。

スマート カバー ロックを再び装着する場合は、不正防止ネジでロックを所定の位置に固定します。

アクセス パネルの取り外し

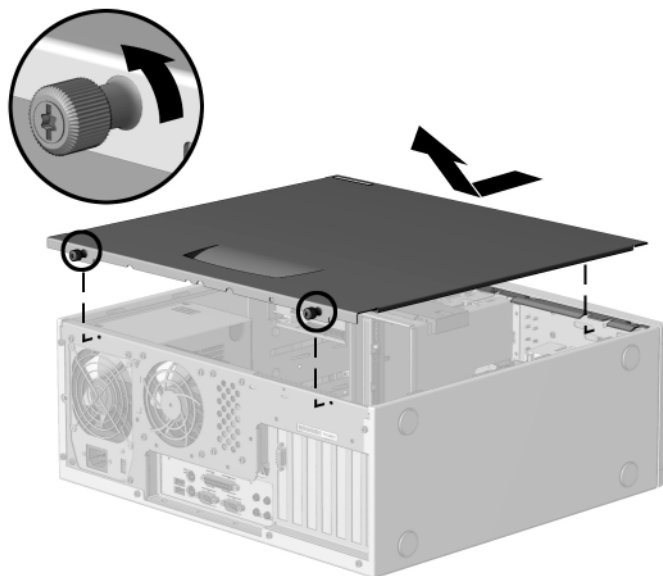
アクセス パネルを取り外す前に、コンピュータが安定するように、広い面を下にしてコンピュータを横置きにしてください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、スマート カバー ロックについての前の項目を参照してください。または、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。



注意: コンピュータのアクセス パネルを取り外す前に、コンピュータの電源が切れ、電源コードが AC コンセントから抜かれていることを確認してください。アクセス パネルをコンピュータのシャーシに固定している 2 本のネジを緩めます。

4. アクセス パネルを後方へ約2.5cmスライドさせてから持ち上げて、シャーシから外します。

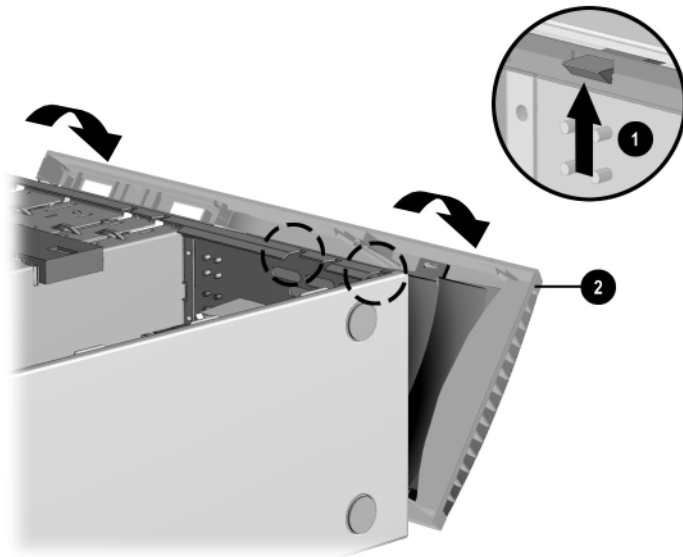


コンピュータのアクセスパネルの取り外し

アクセスパネルを再び取り付ける場合は、上記の手順1から4までを逆の順序で実行します。

フロントパネルの取り外し

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータセットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。コンピュータのアクセスパネルを取り外します。
3. 2つのリリースタブ①を押し上げ、下図のようにフロントパネルの反対側の辺を軸にして回してシャーシから取り外します②。



フロントパネルの取り外し



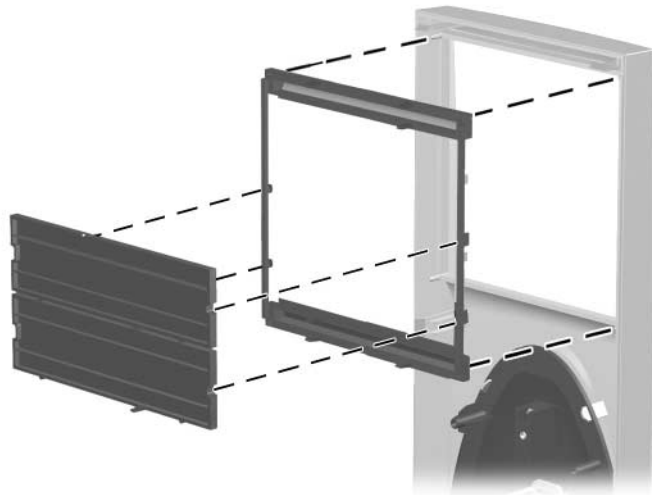
フロントパネルを元のとおりにはシャーシに取り付けるときは、必ず最初にヒンジを正しい位置に合わせてから取り付けるようにしてください。

ドライブ ベイ カバーの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
3. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。次に、フロント パネルを取り外します。
4. ドライブ ベイ カバーが中に固定されているサブパネルをフロント パネルから慎重に引き出し、目的のドライブ ベイ カバーを取り外します。



注意: サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。



サブパネルからのドライブ ベイ カバーの取り外し



サブパネルを元に戻す際には、位置合わせのピンと残りのドライブ ベイ カバーが適切な方向になっていることを確認してください。

増設メモリの取り付け

お使いのコンピュータは、シンクロナス DRAM (SDRAM) デュアル インライン メモリ モジュール (DIMM) を装備しています。

DIMM

Intel 845 チップセット ベースのシステム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準の DIMM を取り付けることができます。これらのメモリ モジュールのスロットには、少なくとも 1 つのメモリ モジュールが標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするには、この標準装備の DIMM をより大きな容量の DIMM と交換しなければならない場合があります。

システムを正常に動作させるためには、お使いのモデルに応じて、必ず、業界標準の 168 ピン、バッファなしの PC133 に準拠した SDRAM DIMM を使用してください。SDRAM DIMM は、CAS レイテンシが 2 または 3 (CL = 2 または CL = 3) の動作をサポートしなければなりません。さらに、JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の SPD (Serial Presence Detect) 情報も含まれている必要があります。× 4 SDRAM で構成される DIMM はサポートされません。サポートされない DIMM を使用するとシステムは起動しません。

メモリ モジュールの取り付け



注意：お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリをアップグレードする際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。



注意：静電気の放電により、パーソナル コンピュータやオプションのカードが破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「付録 E 静電気対策」を参照してください。



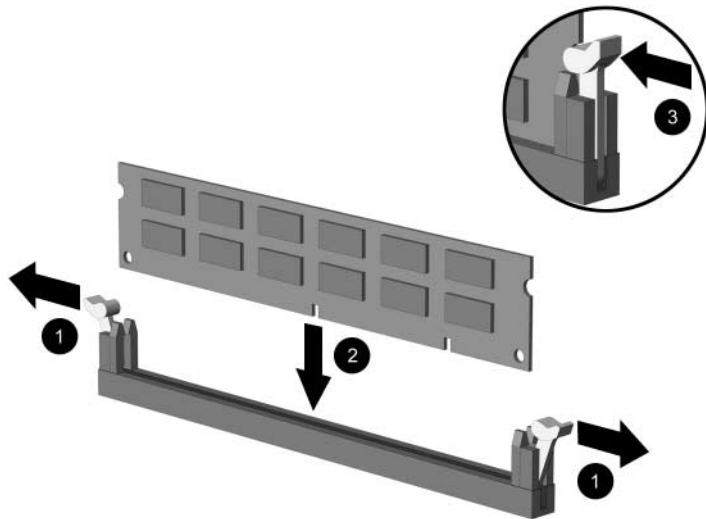
注意：モジュールの破損を防止するため、DIMM モジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
 2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。次に、電源コードを AC コンセントから抜きます。
 3. アクセス パネルを外し、メモリ モジュール ソケットの位置を確認します。
-



警告：火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

- メモリ モジュール ソケットの両方のラッチ ❶ を開き、メモリ モジュールをソケットに差し込みます ❷。



DIMM の取り付け

- 取り付け済みのモジュールに最も近いソケットからモジュールの差し込みを始めて、ソケットの番号順にモジュールを取り付けていきます。
- メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。モジュールのノッチ（切れ目）をメモリ ソケットのタブに合わせます。モジュールをソケットに押し入れ、モジュールが完全に挿入されて正しく収まっていること ❸ を確認します。
- 手順4から6までを繰り返して、すべての増設モジュールを取り付けます。
- アクセス パネルを元に戻します。
- スマート カバー ロックを通常どおりにロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

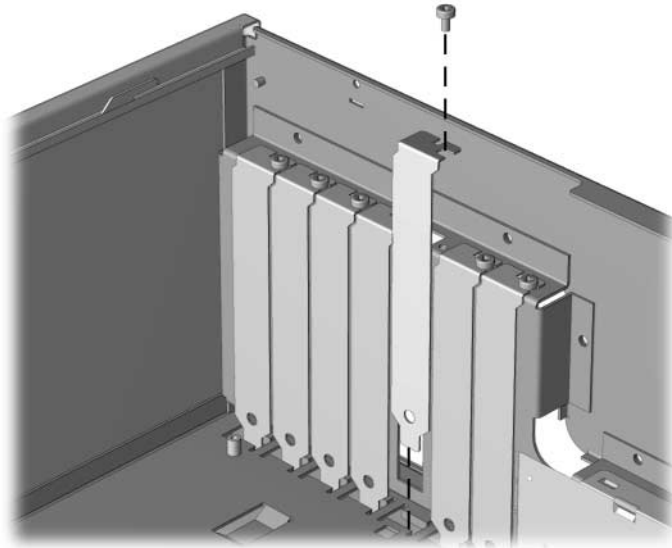
次回コンピュータの電源を入れたときに、増設メモリは自動的に認識されます。

拡張カードの取り付けまたは取り外し

お使いのコンピュータには、コンポーネントをアップグレードしたり追加したりする場合に使用できる拡張スロットが装備されています。

拡張スロット カバーの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードを AC コンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピュータのアクセス パネルを外し、コンピュータ シャーシ内で適切な空のスロットの位置を確認します。
5. スロット カバーを固定しているネジを外して、図のように、拡張スロット カバーをスロットから外します。

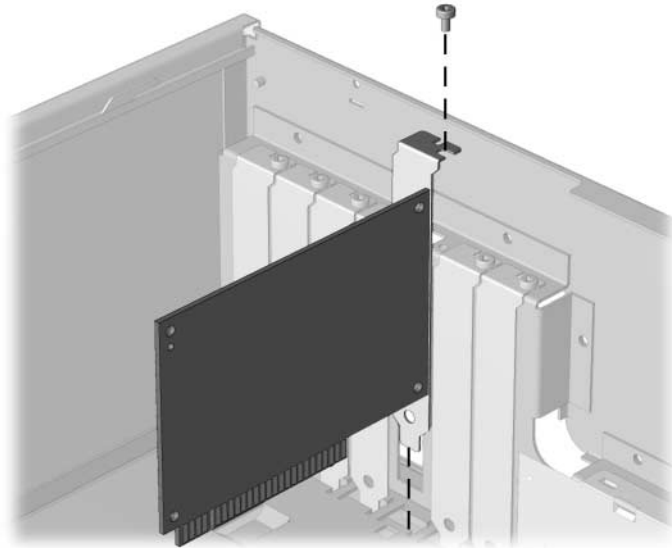


ネジおよび拡張スロット カバーの取り外し

拡張カードの取り外しまたは取り付け

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータセットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切って、電源コードを AC コンセントから抜き取ります。
3. コンピュータのアクセスパネルを外します。
 - 拡張カードを取り付ける場合は、手順 9 に進みます。
 - 拡張カードを取り外す場合は、手順 4 に進みます。
4. 拡張カードに接続されているすべてのケーブルを取り外します。
5. 拡張スロットの側面のネジを外します。
6. カードの両端をつかみ、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に軽く揺さぶります。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。
7. カードを静電気の影響を受けない容器に保管します。
8. 空いたスロットを埋めるために、拡張スロットカバーまたは新しい拡張カードを取り付けます。
 - 新しい拡張カードを取り付けない場合は、手順 13 に進みます。
 - 拡張カードを取り外したスロットとは別のスロットにカードを取り付ける場合は、手順 9 に進みます。
 - 拡張カードを取り外したスロットに別のカードを取り付ける場合は、手順 10 に進みます。
9. 新しい拡張カードを空いたスロットに取り付けるために、拡張スロットカバーを取り外します。

10. 拡張カードを拡張スロットに入れ、しっかりと固定されるように押し込みます。



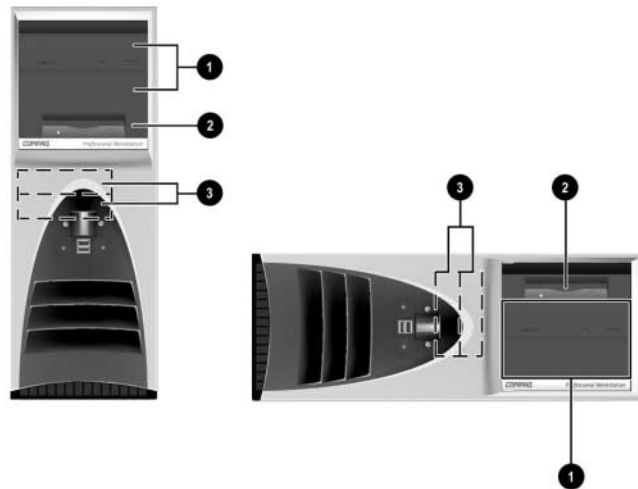
拡張カードの取り外しまたは取り付け



拡張カードを取り付ける際には、カードのコネクタ全体が拡張カードスロットに正しく固定されるように、カードをしっかりと押し込んでください。

11. 拡張カードスロットの側面のネジを元どおりに締めます。
12. 必要に応じて、取り付けしたカードに外部ケーブルを接続します。また、必要に応じて、内部ケーブルをシステムボードに接続します。
13. コンピュータのアクセスパネルを元に戻します。
14. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。

ドライブの位置



デスクトップ構成およびモニタータワー構成のドライブの位置

- ❶ 5.25 インチ、1/2 ハイト リムーバブル メディア用ベイ × 2：
オプションのドライブ用（ドライブ ベイ番号 1、2）
- ❷ 5.25 インチ、1/3 ハイト リムーバブル メディア用ベイ × 1：
3.5 インチ、1.44MB ディスケット ドライブ用（ドライブ アダプタ
により装着）（ドライブ ベイ番号 3）
- ❸ 3.5 インチ、1/3 ハイト ベイ × 2：
内蔵ハードディスク ドライブ用（ドライブ ベイ番号 4、5）

お使いのコンピュータに取り付け済みの記憶装置の種類や容量を調べるには、コンパクト コンピュータ セットアップ ユーティリティを実行します。詳しくは、『コンパクト コンピュータ セットアップ ガイド』を参照してください。



ドライブ ベイ番号は、フロント パネルの裏側に位置するシャーンに示されています。

増設ドライブの取り付け

お使いのコンピュータには、さまざまな構成で最大 5 台のドライブを取り付けることができます。

ドライブを増設する際には、以下のガイドラインに従ってください。

- 最適のパフォーマンスを得るため、IDE ハードディスク ドライブを増設する場合はプライマリ IDE コントローラに接続します。CD-ROM、IDE テープ、ディスケット ドライブなどの拡張デバイスは、80 芯 IDE ケーブルを使用して、セカンダリ コントローラに接続します。
- 1/2 ハイト ベイには、1/3 ハイトまたは 1/2 ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用のネジを取り付ける必要があります。予備のガイド用ネジがコンピュータのシャーシの前面（フロント パネルの裏）に付属しています。オプション ドライブによっては、黒いメートル式のネジ（ミリネジ）を使用するものがあります。



注意：データの損失やコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ハードディスク ドライブを取り付ける場合や取り外す場合は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティングシステムを終了し、コンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。
- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、「付録 E 静電気対策」を参照してください。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニターやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、エア パックなどの緩衝材で包み、しっかりと梱包して、「こわれもの—取り扱い注意」などのラベルを梱包箱の表面に貼るか明記してください。

CD-ROM、DVD-ROM、またはその他のリムーバブルメディアドライブの取り付け

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータセッ トアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コン ピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き取り、コンピュータのアクセスパネルを外します。
3. ドライブの両側にそれぞれ2本ずつガイド用ネジ①を取り付けます。

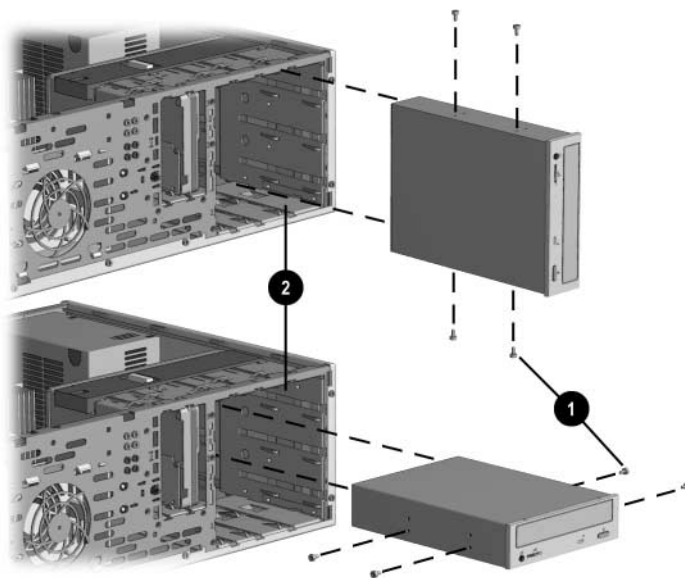


オプションドライブによっては、黒いメトル式ネジ（ミリネジ）を使用す るものがあります。予備のガイド用ネジがコンピュータのシャーシの前面（フ ロントパネルの裏）に付属しています。

4. ドライブをドライブケージ②の前面に滑り込ませて、ドライブベイに 取り付けます。ドライブが所定の位置に収まると、ドライブロック機能 によって自動的に固定されます。

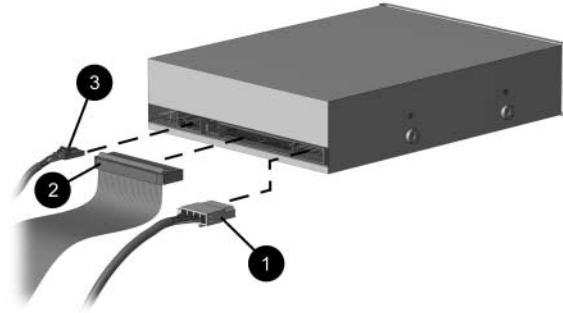


ドライブケージ内でガイド用ネジがガイド用スロットとかみ合っているこ とを確認します。



ガイド用ネジの位置合わせおよびオプションの5.25インチドライブの取り付け
ミニタワー構成（上図）およびデスクトップ構成（下図）

5. ドライブの電源ケーブル①と信号ケーブル②をドライブに接続します。ドライブが CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの場合にデジタルでなくアナログ オーディオを使用するには、オーディオ ケーブル③も接続します。オーディオ ケーブル③ のもう一方の端は、システムボード上のオーディオ コネクタに接続します。

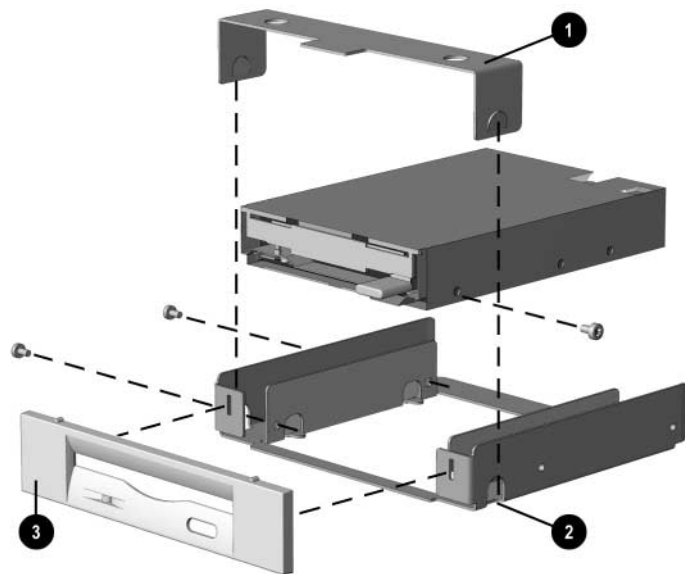


ドライブ ケーブルの接続

6. フロント パネルの内側のサブパネルから適切なドライブ ベイ カバーを外します。手順について詳しくは、この章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」を参照してください。
7. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
8. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第 1 章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

5.25 インチ ドライブ ベイへの 3.5 インチ ドライブの取り付け

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き取り、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを外します。
4. ドライブの右側に 1 本のガイド用ネジを取り付けます。
5. ガイド用ネジの位置がスロットにかみ合うようにドライブをアダプタ ② 内に入れ、2 本の固定用ネジでアダプタに留めます。
6. 留め具 ① をはめ合わせ、ドライブ ベイ カバー ③ をアダプタの前面に装着します。

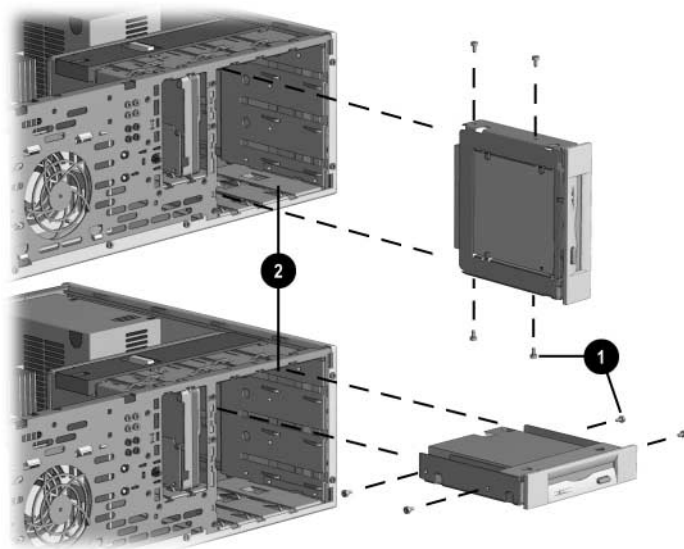


5.25 インチ アダプタへの 3.5 インチ ドライブの装着

- アダプタの両側 ❶ にそれぞれ 2 本ずつガイド用ネジを取り付けます。
- アダプタをドライブ ケージの前面に滑り込ませて、ドライブ ベイに取り付けます。アダプタが所定の位置に収まると、ドライブロック機能により自動的に固定されます。

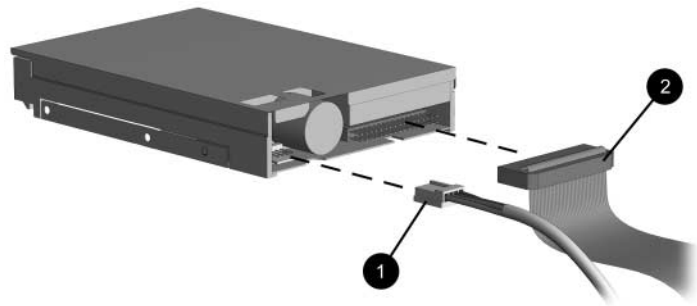


プライマリ 3.5 インチ ディスケット ドライブは、ベイ 3 にしか取り付けられません。デスクトップ構成の場合、ベイ 3 は一番上のベイです。



ガイド用ネジの位置合わせおよびアダプタに装着した 3.5 インチ ドライブの取り付け
ミニタワー構成（上図）およびデスクトップ構成（下図）

9. ドライブに電源ケーブル ❶ と信号ケーブル ❷ を接続します。



ドライブ ケーブルの接続

10. フロント パネルの内側のサブパネルから適切なドライブ ベイ カバーを外します。手順について詳しくは、この章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」を参照してください。
11. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
12. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第 1 章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

3.5 インチ ドライブ ベイへのハードディスク ドライブの取り付け

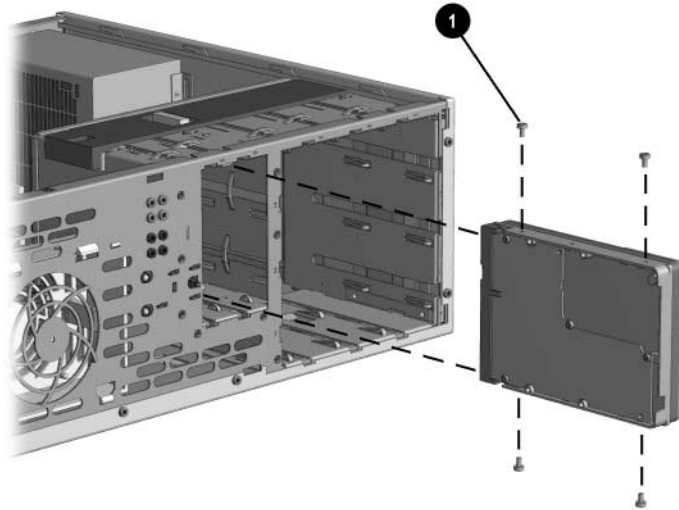


同じシステム内に IDE ハードディスク ドライブと SCSI ハードディスク ドライブを混在させないでください。ドライブ ベイ 4 または 5 のハードディスク ドライブを交換する場合は、同じ種類のものにする必要があります。

以下の手順で、3.5 インチ ドライブ ベイにハードディスク ドライブを取り付けます。

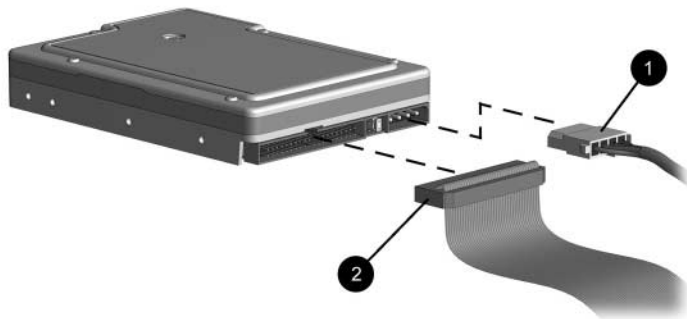
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き取り、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを取り外します。

4. ドライブの両側にそれぞれ2本ずつガイド用ネジ①を取り付けます。
5. 次の図を参考にして、ハードディスクドライブを3.5インチベイに取り付けます。



ハードディスクドライブベイへのハードディスクドライブの取り付け

6. 電源ケーブル①と信号ケーブル②をハードディスクドライブに接続します。

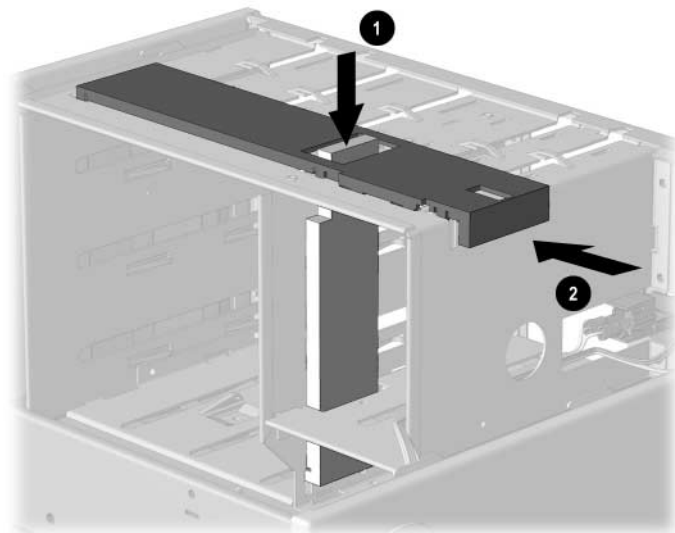


信号ケーブルと電源ケーブルの接続

7. ケーブルのもう一方の端をシステム ボードの適切なコネクタに接続します。
8. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
9. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第 1 章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

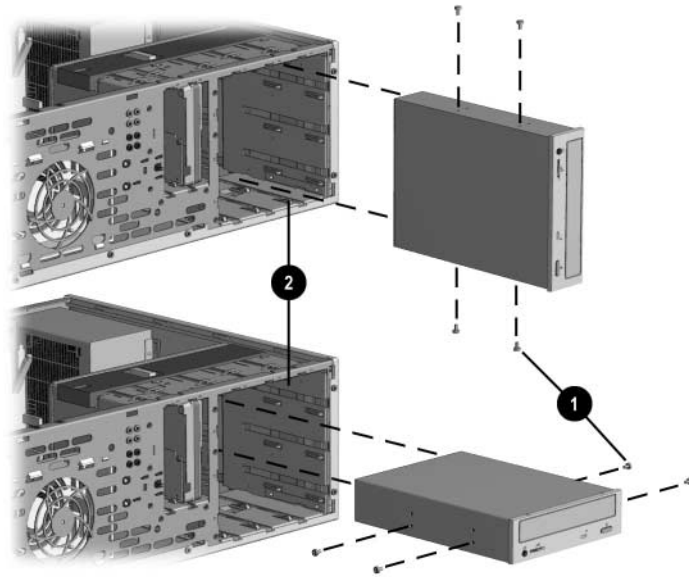
ドライブ ベイからのドライブの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータの電源を切ります。電源コードを AC コンセントから抜き、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを外します。
4. ドライブの電源ケーブルと信号ケーブルを外します。CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブの場合は、オーディオ コネクタも外します。
5. ドライブロック (❶ または ❷) を押して、ドライブ ベイ内のドライブのロックを外します。



デスクトップ構成で 5.25 インチのドライブを固定するドライブロック ❶ および
ミニタワー構成ですべてのドライブを固定するドライブロック ❷
(シャーシ背面からの図)

6. ドライブロックを押しながら、ドライブをドライブ ベイから引き出します。



5.25 ドライブ ベイからのドライブの取り外し

7. ドライブ ベイからドライブを取り外し、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

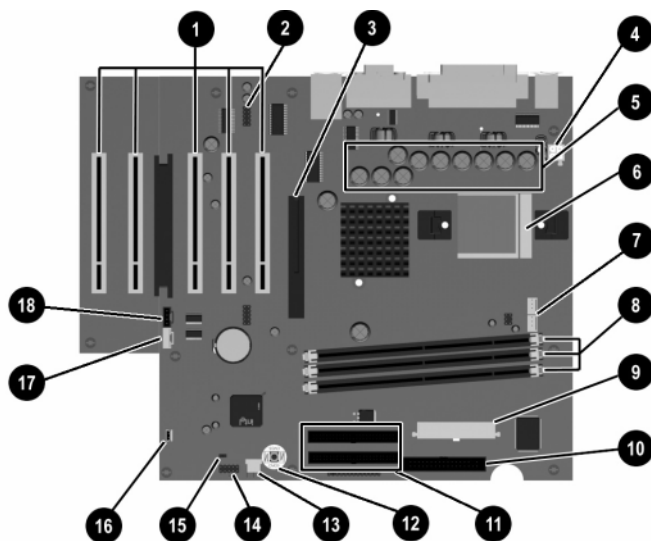
Compaq Evo Workstation W4000

寸法		
高さ	44.8 cm	
幅	16.8 cm	
奥行き	44.7 cm	
重量 (概算)	12.0 kg	
最大荷重	45.5 kg	
温度範囲		
動作時	10 ~ 35°C	
非動作時	-20 ~ 60°C	
相対湿度 (結露せず)		
動作時	8 ~ 90%	
非動作時	5 ~ 95%	
動作保証高度 (非加圧)		
動作時	3048 m	
非動作時	9144 m	
電源		
動作電圧	90 ~ 132 VAC	180 ~ 264 VAC
定格電圧範囲 *	120 ~ 127 VAC	200 ~ 240 VAC
周波数	47 ~ 63 Hz	47 ~ 63 Hz
電源出力	265 W	265 W
定格入力電流 (最大) *	7.5 A	3.75 A
放熱効率		
最大	1392 BTU/時	350 kg-cal/時
最小	696 BTU/時	175 kg-cal/時

* このシステムは、全世界をカバーする電圧自動補正電源を採用しています。したがって、入力電圧の選択スイッチはありません。

製品仕様は予告なしに変更されることがあります。

システム ボード



システム ボードの各部

- | | | | |
|---|-----------------------------------|---|-------------------|
| ❶ | PCI ソケット | ❿ | ディスク ドライブ コネクタ |
| ❷ | ヘッドフォン/マイク コネクタ | ⓫ | Ultra ATA コネクタ |
| ❸ | AGP グラフィックス ソケット | ⓬ | CMOS リセット ボタン |
| ❹ | プロセッサ電源コネクタ | ⓭ | スマートカバー センサ |
| ❺ | 内蔵 VRM (voltage regulator module) | ⓮ | 前面 USB コネクタ |
| ❻ | プロセッサ ソケット | ⓯ | パスワードイネーブラ ジャンパ |
| ❼ | システム ファン コネクタ | ⓰ | 内蔵スピーカ コネクタ |
| ❽ | DIMM ソケット | ⓱ | オーディオ イン |
| ❾ | 電源装置コネクタ | ⓲ | CD-ROM オーディオ コネクタ |

ハードディスク ドライブのインストール

Ultra ATA デバイスのケーブル セレクト機能

別売のドライブは、オプション キットとしてコンパックから提供していません。このキットには、特殊なドライブ ケーブルも含まれています。ドライブのコンフィギュレーションには、ドライブをデバイス 0 (プライマリ ドライブ) またはデバイス 1 (セカンダリ ドライブ) として識別するケーブル選択機能が採用されています。

デバイス 1 は、ケーブルの中央コネクタに接続されたデバイスです。デバイス 0 は、ケーブルの端にあるコネクタに接続されたデバイスです (80 芯 ATA ケーブルにのみ適用されます)。Ultra ATA ケーブルの使用例については、この付録の「Ultra ATA デバイスのインストールのガイドライン」を参照してください。

コンパックのハードディスク ドライブは、あらかじめジャンパがケーブルセレクト モードに設定されています。そのため、既存のドライブまたはオプションのドライブでは、ジャンパの設定を変更する必要はありません。他社製のハードディスク ドライブを購入した場合は、キットに付属のマニュアルを参照して、ケーブルの取り付け / 設定を正しく行ってください。



プライマリ コントローラにセカンダリ ドライブを増設する場合は、ハードウェアの性能を活かすため、別売の 80 芯 Ultra ATA ケーブルを使用してください (モデルによってはこのケーブルが付属しています)。

Ultra ATA デバイスのインストールのガイドライン

Ultra ATA ドライブを増設するときには、以下のガイドラインに従ってください。

- 複数の Ultra ATA デバイスを取り付ける場合は、ハードウェアの性能を活かすために、プライマリ Ultra ATA チャンネルとセカンダリ Ultra ATA チャンネルにデバイスを分散させることをおすすめします。増設用 Ultra ATA ケーブルを使用して、増設デバイスをシステム ボードに接続します。
- 80 芯 Ultra ATA ケーブルには次のような特徴があります。
 - 最長18インチで、デバイス0とデバイス1の間に最大6インチの間隔がとれる 80 芯のケーブル



80 芯 Ultra ATA ケーブル

- ① デバイス 0 (プライマリ ドライブ) のコネクタ
- ② デバイス 1 (セカンダリ ドライブ) のコネクタ
- ③ システム ボード コネクタ
- ハードウェアの性能を活かすために、ハードディスク ドライブは、プライマリ コントローラに接続します。ATA CD-ROM および DVD-ROM ドライブなどの拡張デバイスは、セカンダリ コントローラに接続してください。
- 1/2ハイトベイには、1/3ハイトまたは1/2ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。予備のガイド用ネジがコンピュータのシャーシの前面 (フロント パネルの裏) に付属しています。オプション ドライブによっては、黒いメートル式ネジ (ミリネジ) を使用するものがあります。
- ケーブルにデバイスを 1 つだけ接続する場合は、終端 (デバイス 0) のコネクタにつなげる必要があります。

SCSI デバイス

この項では、SCSI デバイスのガイドラインおよびインストールについて説明します。

SCSI デバイスのガイドライン

SCSI デバイスをインストールして動作させる場合は、必ず以下のガイドラインに従ってください。

- 1 枚の Ultra SCSI コントローラで、チャンネルごとに最大 7 台の SCSI デバイスをサポートできます。
- それぞれの Wide-Ultra SCSI、Ultra-Wide SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Ultra 320 SCSI、または 160 SCSI コントローラで、チャンネルごとに 15 台までの SCSI デバイスをサポートします。
- 複数の SCSI デバイスを取り付ける場合は、ハードウェアの性能を活かすために、利用できる場合は、チャンネル A とチャンネル B にデバイスを分散させることをおすすめします。
- 次の SCSI ケーブルのご使用をおすすめします。
 - 最長 53 インチのツイストペア線、ターミネータ付きの LVD ケーブル、各ドライブの間隔が最短 5.25 インチで最大 5 台のドライブが接続できるもの
- SCSI コントローラが正常に動作するには、インストールされた各 SCSI デバイスに固有の SCSI ID (0 から 7 または 8 から 15) が割り当てられる必要があります。SCSI コントローラは、デバイスがインストールされている位置ではなく SCSI ID 番号から SCSI デバイスを識別するので、SCSI デバイスを SCSI チェインのある位置から別の位置へ移しても、SCSI コントローラと SCSI デバイス間の通信には影響ありません。予約されている SCSI ID 番号と利用できる SCSI ID 番号は次のとおりです。
 - 0 : プライマリ ハードディスク ドライブに予約されています。
 - 7 : コントローラに予約されています。
 - 1 から 6 と 8 から 15 : その他の SCSI デバイスで利用できます。

-
- SCSI チェインは両端でターミネート（終端）してください。次のいずれかの方法でターミネート（終端）できます。
 - ターミネータ内蔵ケーブルを使用する（このケーブルは、お使いのコンピュータに付属しています）
 - 最後のコネクタにターミネート用の抵抗器を付けたケーブルを使用する
 - ターミネート機能を有効にした SCSI デバイスを最後のコネクタに接続する
 - ターミネート機能を有効にした外部 SCSI デバイスを、コンピュータのリアパネルにある外部 SCSI コネクタに接続する
 - コンピュータの電源を入れる前にすべての外部 SCSI デバイスの電源を入れてください。SCSI コントローラが外部デバイスを認識します。
 - お使いのシステムでは、内蔵型の SCSI デバイスと、ハードディスク ドライブ、テープ ドライブ、CD-ROM ドライブなどの外付け SCSI デバイスを組み合わせて使用できます。
 - 同じ SCSI チェインまたは同じ SCSI チャネルでビット幅の異なる SCSI デバイスを混在させることはおすすりできません。同じチェインまたはチャネルでビット幅の異なるデバイスを混在させると、そのチェイン内のデータ転送速度は、最も遅いデバイスのデータ転送速度になります。同一チャネルに Wide-Ultra2、Ultra 160、および Ultra 320 デバイスを混在させることはできますが、Narrow デバイス以外のデバイスと Narrow デバイスは同一チャネルに混在させないでください。

オプションの SCSI デバイスについて詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。



注意: 電源装置への通気が妨げられ、過熱状態になることを防ぐために、ケーブルは、電源装置の通気孔付近に配線しないでください。

別売の SCSI デバイスのインストールのガイドライン



同じシステムに Ultra ATA ハードディスク ドライブと SCSI ハードディスク ドライブを混在させると、Ultra ATA ドライブが起動ドライブになります。起動順序を変更するには、セットアップユーティリティで [F10] キーを押してください。

ハードディスク ドライブを交換する場合は、必ず交換用ドライブに、取り外すドライブと同じ種類のドライブを使用してください。Ultra ATA ハードディスク ドライブを SCSI ハードディスク ドライブと交換する場合は、マルチモードの LVD (低電圧ディファレンシャル) SCSI ケーブル オプションキットが必要です。

SCSI ハードディスク ドライブを 1 台だけ使用する場合は、ベイが 4 つ以上あるコンピュータではベイ 4 に取り付ける必要があります。

SCSI デバイスをインストールする前に、以下の手順を実行してください。

- ドライブの SCSI ID を確認し、必要に応じて、SCSI ID を固有の番号に設定します。この付録の「SCSI デバイスのガイドライン」、またはデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- デバイスのターミネート機能を有効にするか無効にするかを確認します。必要に応じてターミネート機能を設定します。この付録の「SCSI ケーブルの使用」、またはデバイスに付属のマニュアルを参照してください。



デバイスによっては、終端用コネクタが付いていない場合があります。このようなデバイスをターミネートさせるには、終端用ケーブルが必要です。

コンピュータに電源を入れる前に、外部 SCSI デバイスの電源を入れてください。システム ボード コントローラが外部 SCSI デバイスを認識し、自動的にリセットされます。外部 SCSI デバイスがコンピュータ背面の外部 SCSI コネクタに接続されている場合は、そのデバイスが SCSI チェインの終端になるので、必ずターミネートさせる必要があります。

SCSI コントローラ

一部のモデルには、システム ボード上に内部コネクタ付きの、内蔵型単一チャンネル Ultra 160 SCSI コントローラが付属しています。

SCSI ケーブルの使用

モデルによっては、LVD（低電圧ディファレンシャル）またはシングルエンド デバイスをサポートするマルチ モード SCSI ケーブルが付属しています。このケーブルは、正面のドライブ ベイ エリアの最大 3 台の SCSI デバイスをサポートします（UATA モデルには SCSI ケーブルが付属していません）。



ターミネータ プラグ付き 5 デバイス用 SCSI ケーブル



お使いのコンピュータに付属のケーブルは、図のケーブル（5 デバイス用ケーブル）と異なる場合があります。Narrow SCSI デバイスをインストールする場合、68 ピン -50 ピン SCSI アダプタが必要です。

オプションの SCSI デバイスのインストールについて詳しくは、デバイスのオプション キットに付属のマニュアルを参照してください。

SCSI デバイスと [SCSISelect] の使用

SCSI ホスト アダプタには、このホスト アダプタを設定したり、SCSI ディスク ユーティリティを実行したりするための[SCSISelect]ユーティリティが搭載されています。次の手順で、[SCSISelect] ユーティリティを実行します。

- POST (Power-On Self Test) メッセージを有効に設定 : POST 中に "Press <Ctrl><A> for SCSISelect Utility" というメッセージが表示されたら、[Ctrl] + [A] キーを押します。
- POST メッセージを無効に設定 : コンパックのロゴ画面が表示されたら、任意のキーを押してこの画面を終了します。画面が終了したらすぐに [Ctrl] + [A] キーを押して、[SCSISelect] ユーティリティを実行します。

次のオプションがあるメニューが表示されます。

- Configure/View Host Adapter Settings (ホスト アダプタの設定値のコンフィギュレーション / 表示)
 - SCSI Bus Interface Definition (SCSI バス インタフェース定義)
 - ◆ Host Adapter SCSI ID (ホストアダプタの SCSI ID)
 - ◆ SCSI Parity Checking (SCSI パリティ チェック)
 - ◆ Host Adapter SCSI Termination (ホストアダプタの SCSI ターミネート)
 - Additional Options (その他のオプション)
 - ◆ Boot Device Options (ブートデバイス オプション)
 - ◆ SCSI Device Configuration (SCSI デバイス コンフィギュレーション)
 - ◆ Advanced Configuration Options (拡張コンフィギュレーション オプション)
- SCSI Disk Utilities (ディスク ユーティリティ)

すべての SCSI デバイスと SCSI ID 番号の一覧



コンピュータ起動時の POST メッセージの有効 (Enable) / 無効 (Disable) の設定に関しては、リファレンス ライブラリ CD に収録されている『コンピュータセットアップガイド』を参照してください。

低騒音ドライブのオプションの選択



低騒音ドライブ (Quiet Drive) はオプションの機能であり、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。

低騒音ドライブがサポートされているコンピュータ、または低騒音ドライブをインストールしたコンピュータをお使いの場合は、低騒音モードまたは最大性能モード (デフォルト) で動作するようにドライブをコンフィギュレーションできます。ドライブがアイドル状態のときは、低騒音ドライブによって騒音が通常のドライブより約 4dB (デシベル) 低く抑えられます。低騒音モードで動作するようにコンフィギュレーションすると、低騒音ドライブによるデータの読み書きで生じる騒音は、通常のドライブより約 7dB 低く抑えられます。



低騒音 (Quiet) モードで動作するようにコンフィギュレーションした場合、ドライブは最大のパフォーマンス レベルで動作しません。ドライブのパフォーマンス レベルを最大にしたい場合は、最大性能 (Performance) モードで動作するようにドライブを設定します。

お使いのコンピュータに低騒音ドライブがインストールされているかどうかを調べたり、コンピュータを低騒音モードに設定したりするには、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータに電源を入れるか、または再起動します。Windows の場合は、[スタート] → [シャットダウン] → [コンピュータの再起動] → [OK] の順に選択します。
 2. 画面の右下の隅に [F10 = Setup] メッセージが表示されたら、[F10] キーを押します。
-



メッセージが表示されている間に [F10] キーを押さなかった場合は、コンピュータを再起動してユーティリティを実行してください。

3. 一覧から表示言語を選択し、[Enter] キーを押します。
4. [コンピュータ セットアップ ユーティリティ] メニューに 5 つの選択項目が表示されます。矢印キーまたは [Tab] キーを使用して、[ストレージ] → [デバイス構成] の順に選択します。
5. デバイスの一覧からドライブを選択し、[Enter] キーを押します。

-
6. [低騒音ドライブ] → [低騒音] の順に選択します（工場出荷時は [最大性能] に設定されています）。



[低騒音ドライブ] オプションが表示されない場合は、お使いのコンピュータに低騒音ドライブ（Quiet Drive）がインストールされていません。

7. 設定の変更を適用して保存するには、[File]（ファイル）→ [Save Changes]（変更を保存して終了）の順に選択します。

バッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロックに電力を供給するためのもので、約 3 年間使用できます。バッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3V のボタン型リチウム バッテリーです。



リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータを AC コンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータが AC 電源に接続されていない場合にのみ使用されます。



警告：お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や破裂などの危険があるので以下のことを守ってください。

- バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーを 60 °C を超える場所に放置しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 交換用のバッテリーは、必ずコンパックが指定したものを使用してください。



注意：バッテリーを交換する前に、コンピュータの CMOS 設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されるときに、CMOS 設定がクリアされます。CMOS 設定のバックアップ作成について詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。



バッテリーやバッテリーパックは、家庭用ゴミとして捨てないでください。お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、公共の収集システム等を利用して廃棄またはリサイクルしてください。



注意： 静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

1. スマートカバーロックがロックされている場合は、コンピュータセットアップユーティリティを使用してロックを外し、スマートカバーセンサを無効にします。
 2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードを AC コンセントから抜き、コンピュータのカバーまたはアクセスパネルを取り外します。
-

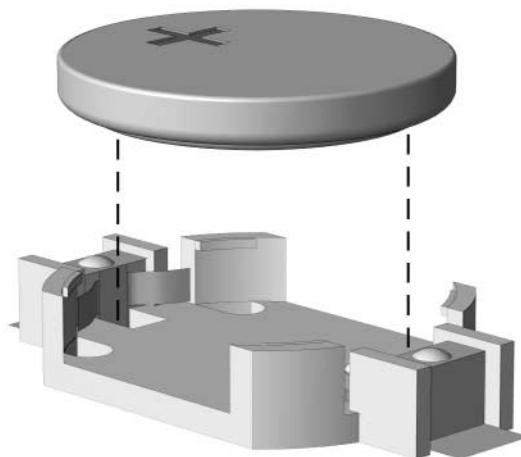


バッテリーを交換する際に、拡張ボードを取り外す必要がある場合があります。

3. システムボード上のバッテリーおよびバッテリーホルダの位置を確認します。
4. システムボード上のバッテリーホルダのタイプに応じて、以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

タイプ 1

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。



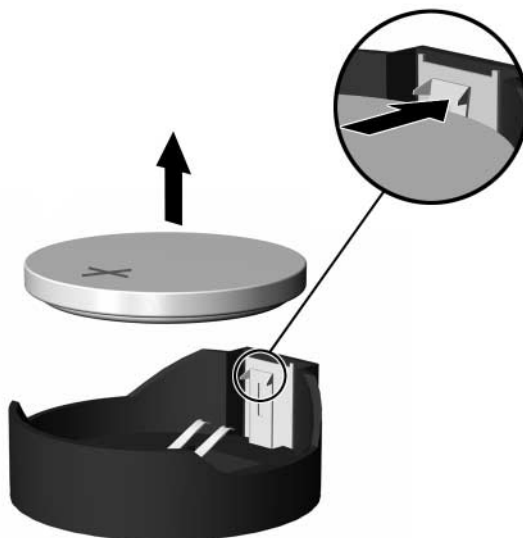
ボタン型バッテリーの取り出し (タイプ 1)

- b. 交換するバッテリーを "+" と書かれている面を上にして、正しい位置に装着します。

バッテリーホルダは自動的にバッテリーを正しい位置に固定します。

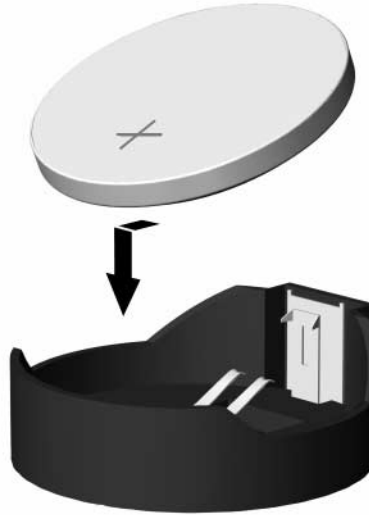
タイプ 2

- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。
- b. バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて外します。



ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ 2）

-
- c. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを "+" と書かれている面を上にして、ホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます。



ボタン型バッテリーの交換 (タイプ2)



バッテリーを交換したら、以下の手順を実行して交換作業を終えます。

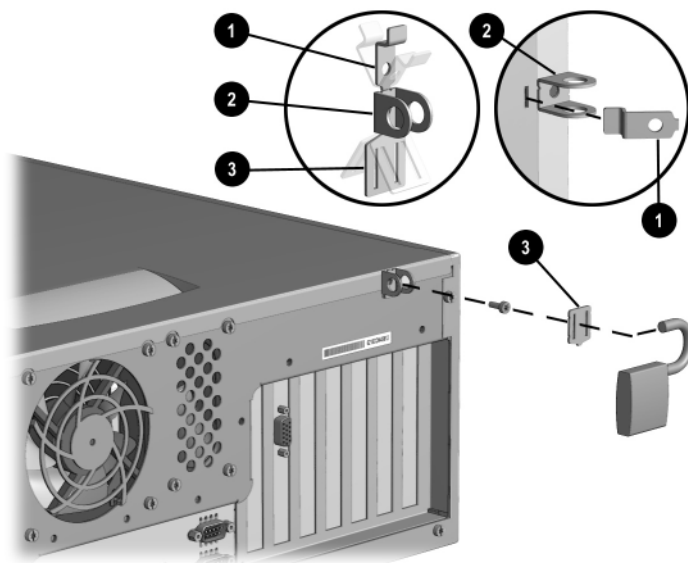
5. コンピュータのカバーまたはアクセス パネルを、元のとおりに取り付けます。
6. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
7. コンパック コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなおします。詳しくは、『コンピュータ セットアップ ガイド』を参照してください。

スマート カバー ロックを通常どおりロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

セキュリティ ロックの準備

セキュリティ ロックの取り付け

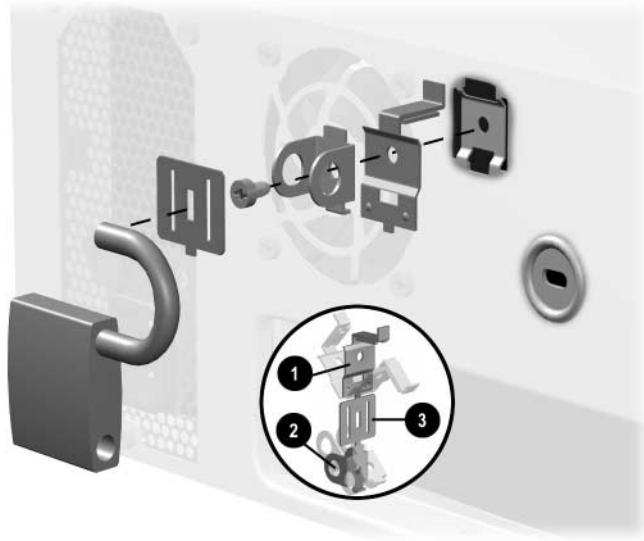
コンピュータを保護するために使用できるセキュリティロックには、複数の種類があります。次の図に、コンピュータのモデルによって異なるいくつかのセキュリティロックを示します。シャーシの違いによって、スロットの位置が図と異なる場合があります。



コンパクト タイプ 1 のセキュリティ ブラケットの取り付け
(モデルによって異なります)



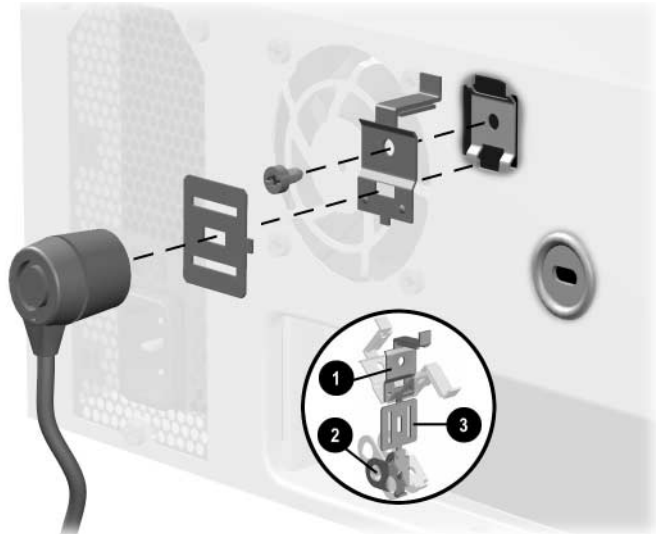
警告 : セキュリティ ブラケットの部品には、鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。鋭利な部分がコンピュータ シャーシからはみ出さないようにブラケットを取り付けてください。



コンパクト タイプ 2 のセキュリティ ブラケットの取り付け
(モデルによって異なります)



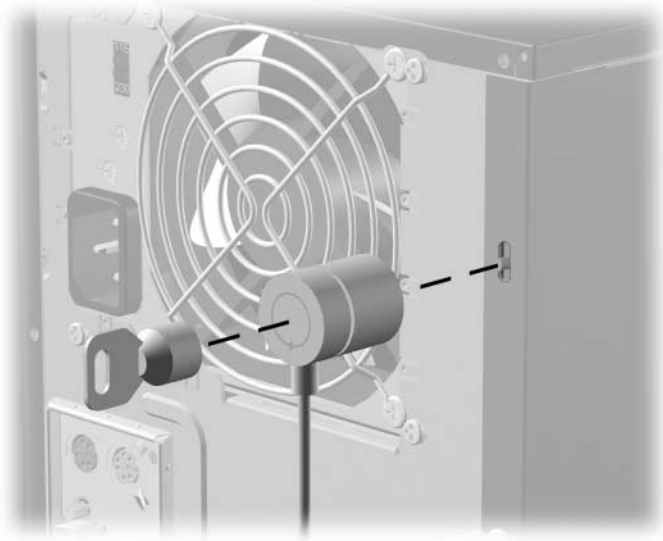
警告 : セキュリティ ブラケットの部品には、鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。鋭利な部分がコンピュータ シャーシからはみ出さないようにブラケットを取り付けてください。



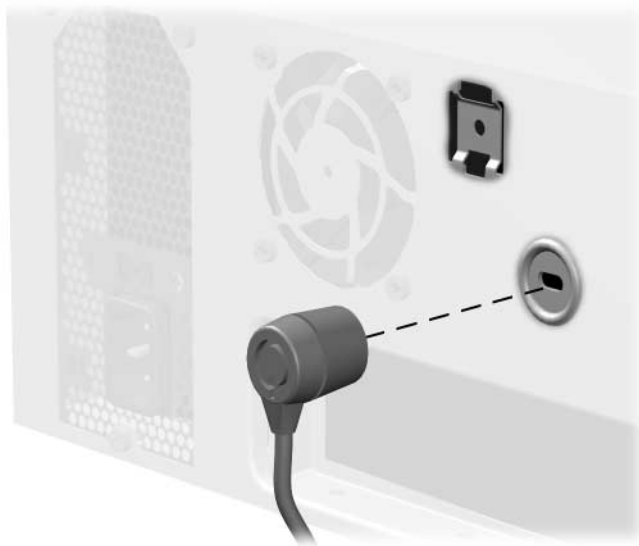
コンパクト タイプ 2 のブラケットを使用したケーブル ロックの取り付け
(モデルによって異なります)



警告 : セキュリティ ブラケットの部品には、鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。鋭利な部分がコンピュータ シャーシからはみ出さないようにブラケットを取り付けてください。



ケーブル ロックの取り付け（モデルによって異なります）



ケーブル ロックの取り付け（モデルによって異なります）

静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ペン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているワークステーションまたはコンピュータのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1M\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 作業用具は磁気を帯びていないものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合コンパック製品販売店またはコンパックのサポート窓口にお問い合わせください。



静電気について詳しくは、コンパックのサポート窓口にお問い合わせください。

コンピュータの手入れと運搬時の注意

コンピュータの手入れ

コンピュータとモニタが安定して動作するよう、以下のことを守ってください。

- コンピュータは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピュータの背面とモニタの上部に、少なくとも7～8cmの空間を確保してください。
- コンピュータのカバーやサイド パネルを取り外したまま使用しないでください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピュータの正面にある通気孔をふさがないでください。キーボードをデスクトップ構成の本体のフロント パネルに立てかけることも、おやめください。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。コンピュータを使用する際に推奨される温度範囲と湿度範囲については、このガイドの「付録 A 仕様」を参照してください。
- コンピュータ本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- 以下の項目については、必ずコンピュータの電源を切り、電源コードをAC コンセントから抜いてから行ってください。
 - コンピュータやモニタの外側、キーボードの表面が汚れたら、水で湿らせた柔らかい布で汚れを落とし、けばだたない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - コンピュータの正面と背面の通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

CD-ROM ドライブの使用上の注意

CD-ROM ドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があったときは、最低1時間待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる所、機械の振動がある所には置かないでください。

クリーニングの際の注意

- フロントパネルやスイッチ類が汚れたら、水で湿らせた柔らかい布で拭いてください。決して、クリーニング液などを直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に、異物や液体が入ってしまった場合は、ただちにコンピュータの電源を切り、電源コードを AC コンセントから抜いて、コンパクトのサポート窓口に点検を依頼してください。

運搬時の注意

コンピュータを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップを CD、テープ、カートリッジ、またはディスケットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。



ハードディスク ドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. ディスケット ドライブに入っているディスケットを取り出します。
3. ディスケット ドライブに空のディスケットを挿入して、運搬中のドライブを保護します。データを保存したディスケットや保存する予定のディスケットは使用しないでください。
4. コンピュータと外部装置の電源を切ります。
5. AC コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピュータからも抜き取ります。
6. 外部装置の電源コードを AC コンセントから抜いてから、外部装置からも抜き取ります。



すべてのボードがスロットにしっかりはめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げのときにコンピュータが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピュータとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。



運搬中の環境条件については、このガイドの「付録 A 仕様」の非動作時の項目を参照してください。

索引

C			
CD-ROM ドライブ			
インジケータ	1-2		
取り出しボタン	1-2		
取り付け	2-16		
D			
DIMM (デュアル インライン メモリ モジュール)			
取り付け	2-8		
DVD-ROM ドライブ			
取り付け	2-16		
I			
Intel 845 チップセット	2-8		
S			
[SCSISelect] ユーティリティ	B-7		
SCSI コントローラ	B-6		
SCSI デバイス			
ガイドライン	B-3		
SDRAM (シンクロナス DRAM)	2-8		
Smart Cover FailSafe キー	2-2		
U			
Ultra ATA デバイス	B-1		
USB	1-2, 1-3		
W			
Windows Logo キー	1-4, 1-5		
あ			
アクセス パネル、取り外し	2-4		
運搬時の注意	F-1		
か			
拡張カード、取り付けまたは取り外し	2-11		
拡張スロット カバー、取り外し	2-11		
キーボード	1-4		
Windows Logo キー	1-5		
コネクタ	1-3		
使用	1-4		
機能	1-1		
構成			
デスクトップ	1-6		
ミニタワー	1-9		
構成の機能	1-1		
コネクタ			
Ethernet RJ-45	1-3		
USB	1-2, 1-3		
キーボード	1-3		
シリアル	1-3		
電源コード	1-3		
パラレル	1-3		
ヘッドフォン / ラインアウト	1-2, 1-3		
マイク	1-2, 1-3		
マウス	1-3		
モニタ	1-3		
ラインイン オーディオ	1-3		
コンピュータのアクセス パネル			
取り外し	2-4		
コンピュータの手入れ	F-1		
コンポーネント			
キーボード	1-4		
フロントパネル	1-2		
リア パネル	1-3		
さ			
仕様	A-1		
シリアル コネクタ	1-3		
シリアル番号	1-6		
シンクロナス DRAM (SDRAM)	2-8		
スイッチ、電圧選択	1-3, A-1		
スマート カバー ロック	2-2		
静電気対策	E-1		
セキュリティ			
スマート カバー ロック	2-2		
セキュリティ ロックの準備	D-1		
た			
ディスクレット ドライブ			
ランプ	1-2		
低騒音ドライブ	B-8		
電圧選択スイッチ	1-3, A-1		

電源			
コード コネクタ	1-3		
ボタン	1-2		
ランプ	1-2		
ドライブ ベイ カバー			
取り外し	2-7		
ドライブの位置	2-14		
取り付け			
3.5 インチ ドライブ	2-18		
CD-ROM ドライブ	2-16		
DVD-ROM ドライブ	2-16		
拡張カード	2-12		
増設ドライブ	2-15		
ハードディスク ドライブ	2-20		
メモリ	2-8		
メモリ モジュール	2-8		
取り付け手順	2-1		
取り外し			
拡張カード	2-11, 2-12		
拡張スロット カバー	2-11		
コンピュータのアクセス パネル	2-4		
ドライブ	2-22		
ドライブ ベイ カバー	2-7		
フロント パネル	2-6		
		は	
		ハードディスク ドライブ	
		取り付け	2-20
		取り付け手順	B-1
		バッテリー	
		交換	C-1
		パラレル コネクタ	1-3
		フロント パネル	
		取り外し	2-6
		フロント パネルの各部	1-2
		ま	
		マイク コネクタ	1-3
		マウス	1-5
		メートル式のネジ	2-15
		メモリ	
		DIMM	2-10
		SDRAM	2-8
		☒	2-10
		増設メモリの取り付け	2-8
		モジュール ソケット	2-8
		ら	
		リア パネルの各部	1-3